



三春中学校だより

第 16 号

発行日 令和 元 年 7 月 1 1 日

発行所 三春町立三春中学校

電 話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【大いに“納得”！ ～M班長の理想とする清掃についてうかがいました。～】

どんな清掃が三春中学校の清掃なんだろう。それを確かめたくて、現在、会議室・校長室担当の3年生のM班長さんにお聞きしました。

【ある日の清掃】

Q：「どうして掃除ってするんだろうね？」

A：「お客さんがせっかく来てくれても汚い場所では、いたくなくなります。」

Q：「どんなことに注意して掃除しているの？」

A：「隅々まで掃除をする。そして、汚いところは時間をかけてきれいにするようにしています。」

Q：「私と話をしているバケツをかたづけ時間がなくなってしまったけどごめんね。」

A：「誰か別の班員がかたづけてくれればとも思ったけど、バケツはぼくの係なので自分でやります。」

【別の日の清掃】

Q：「今日はけがをした班員がいてどんなことに気を配ってくれたのかな？」

A：「人数が少ない分は他の人でカバーしてあげよう。人が少なくともいつもどおりきれいにしようと考えました。」

Q：「けがをした人にどうしてあげたの？やらなくていいようにしてあげたの？」

A：「仕事をやらせないのではなく、できない人にはできることを考えて、けがに触らず難しくないものを作ってもらいました。」

Q：「その他に気づいたことは？」

A：「3年生の女子班員が、けがをした班員のために雑巾を絞ってあげていました。」

Q：「それはどうして気になったの？」

A：「掃除ではなく、相手に対する思いやりの気持ちがすばらしいなって感じたからです。」

【また別の日の清掃】

Q：「今日聞いてみたいのは、どうして班になって清掃しているのか、考えを聞かせてくれる？」

A：（沈黙）

Q：「一人で学校を掃除してと言われたらどう？」

A：「とてもできません。」

Q：「自分が普段使わない校長室も掃除してくれているよね？」

A：（広い場所なので）みんなで分担してやります。」

Q：「そのことをみんなはそういうふうに理解しているのかな？」

A：「多分わかっていると思います。」

三春中学校の教育計画『清掃指導全体計画』の『校舎内外の清掃・整理整頓をすることによって、よい環境の中で学習や生活をしようとする態度を養う。』と『異学年との活動を通して、社会性を身につけたり、互いに協力し合ったりする心情を養う。』という2つのねらいの示すところが、班長さんとの会話の中から見えてきたような気がします。

【M班長との会話を通して私が学んだこと】

→ 汚い場所は人が安全・安心して過ごすのにふさわしくない場所である。

→ 見えないところにまで神経を行き届かせ、少しでも汚れを落とすよう粘り強く取り組む。

→ 用事があったりけがをしたりして人数が足りないときは、他のメンバーが気遣い、思いやり、助け、カバーしてあげる。

→ 相手を思いやりとは、できないからやらなくていいということではなく、できることを見つけてあげ、仲間として活動に取り組みさせてあげることではないか。

→ 先輩は後輩を思いやり、後輩は先輩から学び、協力して活動する気持ちをもつ。

→ 大きな問題は一人で抱えず、分担してあたれば成し遂げることができる。

清掃活動を通して会議室・校長室掃除のみなさんは、生活していく上で、生きていく上で大切なことをたくさん学んでいるようです。まさに、『忠恕』『探究』『必達』のめざす生徒像そのままですね。

【“広い世界”をみてきました！ ～自信をもって自分の人生を歩む。～】

田村支部陸上競技大会を経て出場権を得た県陸上大会。三春中学校のユニフォームを着用し、三春中代表、そして、田村支部代表としてすばらしい活躍を見せてくれました。力の限りを振り絞り競技する姿は見る者の心を揺さぶります。感動させます。見る者に自分もがんばってみるかという気持ちを起こさせます。あづま陸上競技場に集まったすべてのみなさんはきっとたくさんの生きる勇気をも

らったに違いありません。

出発前、選手のみなさんには、「広い世界をぜひ見てきてください。」とお話しました。がんばって練習し、そのがんばりが実って県大会という場に出場することができたこと、世の中には自分より速く走る人、自分より高く跳ぶ人、自分より遠くまで投げられる人がいること、競技に取り組む姿勢はみんなひたむきで真剣そのものであること、勝てばうれしいし負ければ悔しいことなど、広い世界に接することで、それぞれの選手がそこでしか味わえない何かを感じ学んできました。それは、大切な宝物として子どもたちの心の中にずっと輝いているはずですよ。選手のみなさん、よくがんばりました。



【学びの成果が随所に！ ～作品・作物づくりにも取り組んでいます。～】

技術科室・ランチルームの外に並んだプランター。美術科室前に並んだお寿司。校舎内には、さまざまな生徒の学びの成果が掲示・展示されています。着実な学びを繰り返しながら、子どもたちは日々成長を続けています。

それは、教科の勉強であったり、道徳の勉強であったり、人との関わり方の勉強であったり、生き方の学習であったりします。先生やクラスメイト、先輩・後輩、さまざまな出会いのある学校という場は、自立した社会人として成長していく上での基礎を学ぶ場です。

失敗を恐れず、さまざまなことに挑戦し、たくさんの失敗・成功の中から、自分の生き方を見つけていってほしいと強く思います。

それにしても、おいしそうなお寿司ですね。ああ、おなかですいた。

